

第1学年 算数科

教科目標

- ① 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。
- ② 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにします。
- ③ 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにします。
- ④ 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようになります。

学習計画

月	単元・題材名	時間	学習活動
4	○ なかまづくりと かず	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵を見て集合づくりをする。 ・ 2つの集合の多さを1対1の対応で比べる。 ・ 10までの数について正しく数えることができ、数字を読んだり書いたりする。 ・ 1つもないことを0と表すことを知る。
5	○ なんばんめ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数を用いて順序や位置を表す。
6	○ いくつと いくつ	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ おはじきなどを用いて、10までの数の合成・分解を考える。
	○ あわせて いくつ ふえろと いくつ	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の中から加法の場面を考え、加法の意味や、式の表し方を理解する。 ・ 和が10以下の加法計算をする。 ・ 0を含む加法の計算の意味を知る。
7	○ のこりは いくつ ちがいは いくつ	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の中から減法の場面を考え、減法の意味や、式の表し方を理解する。 ・ 10以下の数について減法の計算をする。 ・ 0を含む減法の計算の意味を知る。
	○ 10より おおきい かず	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20までの数の数え方、読み方、書き方を知る。 ・ 数直線を手がかりにして、20までの数の大小を考える。 ・ 20までの数の繰り上がりや繰り下がりがない加減法の仕方を考える。
9	○ なんじ なんじはん	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時計を見て、何時、何時半の時刻を読む。
	○ はなは なんこ さいたかな	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ものの個数を集合別に整理したり、個数の大小を比べたりする。
	○ どちらが ながい	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りにあるものの長さを、直接比較や間接比較、任意単位の「いくつ分」によって比べる。
10	○ 3つの かずの けいさん	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの数の加減計算の場面を1つの式に表し、計算をする。
	○ どちらが おおい	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りにあるもののかさを、直接比較、間接比較、任意単位の「いくつ分」によって比べる。
10	○ たしざん	13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10のまとまりに着目し、1位数どうしの繰り上がりのある加法の計算の仕方を考える。 ・ 計算カードを用いた活動を通して、繰り上がりのある1位数どうしの加法計算の練習をする。
11	○ かたちあそび	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな形ものを積んだり転がしたりして、図形の特徴をとらえる。 ・ 立体の面の形に着目して、形の特徴をとらえる。
	○ ひきざん	13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10のまとまりに着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法の計算の仕方を考える。 ・ 計算カードを用いた活動を通して、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の練習をする。
12	○ どんな けいさんになるのかな	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加法や減法を適用して問題を解決する。
1	○ どちらが ひろい	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りにあるものの面積を、直接比較やますの数で比べる。
	○ 20より おおきい かず	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100までの数の数え方、読み方、書き方、数の構成を知る。 ・ 数直線を用いて、数の並び方、大小を考える。 ・ 120程度までの数の数え方、並び方を知る。 ・ (何十)±(何十)、簡単な場合の(2位数)±(1位数)の計算の仕方を考える。
2	○ なんじなんぶん	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時計を見て、何時何分の時刻を読む。

3	○ ビルをつくろう	1	・ 数の乗法除法的構成を理解する。
	○ ずをつかって かんがえよう	6	・ 図を基に問題を考え、立式する。
	○ かたちづくり	6	・ 色板をずらしたり回したり裏返したりすることを通して、いろいろな形を作る。 ・ 数え棒を並べたり格子点を直線で結んだりして、いろいろな形を作る。
	○ ばしょをあらわそう	1	・ 数を用いた位置の表し方を理解する。
	○ けいさんピラミッド	2	・ 既習事項を総合的に適用して問題を解く。
	○ 1ねんの ふくしゅう	2	・ 既習の内容を活用して問題を解く。
授業時数の合計 136時間			

算数科の評価

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
算数への関心・意欲・態度	数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習中の様子 ・ テスト ・ ノート ・ プリント などで、総合的に評価します。
数学的な考え方	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え表現したり工夫したりしているかどうかという観点から見ます。	
数量や図形についての技能	整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けているかどうかという観点から見ます。	
数量や図形についての知識・理解	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を豊かにしているかどうかという観点から見ます。	